

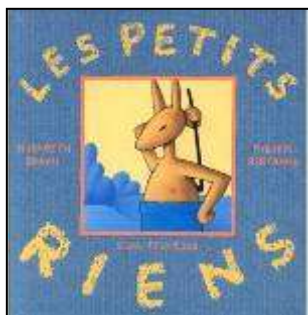
Les Ressources du mois

- Décembre 2011 -



Alliance Française de Sapporo
札幌アリアンス・フランセーズ

Le livre du mois

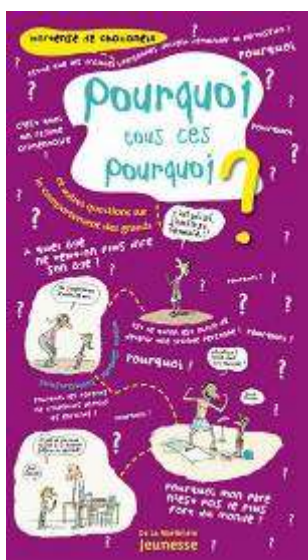


« Les petits riens » Elisabeth Brami (1995)

文：エリザベト・ブラミ 絵：フィリップ・ベルトラン

クリスマスの季節になると、アリアンスでも子どもが主役。

«Les petits riens» は、小さな子たちのために書かれたかわいい絵本。子どもたちが「ある、ある！」と思うような、取るにたりないちょっとした事柄を書きとめた手書きの文章と、思わず微笑みたくなるような素敵なイラストが、温かい気持ちにさせてくれる。ぜったい自分の子どもや孫に読んであげたくなるはず。子どもたちも大好きになること間違いなし！



« Pourquoi tous ces pourquoi ? » Hortense de Chabaneix (2011)

文：オルタンス・ド・シャバネクス 絵：ジャック・アザム

子どものための本をもう一冊。もう少し年上を対象。子どもたちの大人に対する71の疑問・質問に、ユーモアをまじえて答えており、誰にとっても参考になる本だ。沢山のイラストが散りばめられ、「みんなが、大きな人にならなければいけないの？」「健康に悪いのに大人が煙草を吸うのはなぜ？」等、愛・セックス・学校といった、難しく答えにくいテーマについても、自分の子どもたちと話しをする上で大変参考になる、お勧めの一冊！

A écouter à tout prix !

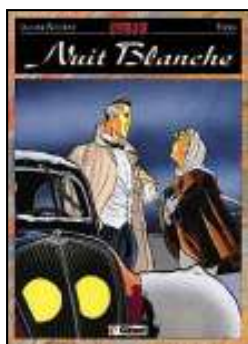


« Le tango des gens » Sanseverino (2001)

歌：サンセヴェリーノ

« Le tango des gens » は、サンセヴェリーノ（元ヴォールール・ド・プルのリーダー）初のソロ・アルバム。スウィング・ジャズ、もしくはジプシー音楽、或いはその融合!? という感じで、「煩わしい心配ごとなんて忘れたい!」と思わせてくれる 1 枚。バイオリン、アコーディオン、金管楽器、バンジョーにアコースティック・ギター。それらが見事に一体となり、明るく踊るような雰囲気を作りだしている。今すぐ聞いてほしい!

La BD du mois



« Nuit Blanche » Yann/ Neuray (1989)

脚本：ヤン 絵：ノイレ

BD シリーズ。その素晴らしさは、脚本家ヤンの持つユーモアと歴史に対する細部までのこだわり、そして、オリヴィエ・ノイレの洗練された絵、ということに尽きる。「Nuit Blanche」は、非日常を味わえる素晴らしい冒険シリーズ。興味を持った方は、アリアンス・フランセーズへ!

Le film coup de cœur



« Camille Claudel » film réalisé par Bruno Nuytten (1988)

『カミーユ・クローデル』

監督：ブリュノ・ニュイッテン

出演：イザベル・アジャーニ、ジェラルール・ドパルデュー

フランス人彫刻家であるカミーユ・クローデル（1864-1943）の波乱に満ちた半生を忠実に描いた、非常に素晴らしい作品。

あふれんばかりの才能を持ち、類まれな美しさにも恵まれたカミーユであったが、その彼女を待っていたのは、女性を認めぬ男性社会との闘い、そして、当時最高の彫刻家と評されていたオーギュスト・ロダンの愛と裏切りであった。

ジェラルール・ドパルデュー、イザベル・アジャーニ、というフランスの二大スターが共演したことで話題になった。セザール賞では、全5部門で最優秀賞を受賞した傑作。アジャーニは、セザール賞とベルリン映画祭で最優秀女優賞に輝いている。